

米国におけるオーソティックスの現状

米国では処方箋なしで買えるオーソティックスはドラッグストアのフットケア売り場、スポーツ用品店の靴売り場で主に販売されている。踵に痛みがある人、足の裏に痛みがある人、スポーツのパフォーマンス効果を高めることを目標とする人などが主な購買者である。主な販売元は

Dr. Scholl's, Langer, Spenco, Powerstep, Superfeet などである。

米国においてオーダーメイドのオーソティックスの処方箋を書ける物は足病外科医と一般医であるが、一般医は足の分野には精通していないため、足病外科医、または整形外科医が処方箋を書くことが多い。

処方箋の内容は糖尿病患者の足の保護目的のオーソティックスの製作内容の精細な指示を含む。

保護目的のオーソティックスは3層になっており、素材はプラスタゾート(表層: 足に当たる部分)、Lynco(中間層)、EVA(底層)などであることが多い。足趾の切断歴、中足の切断歴のある患者には切断された部分にプラスタゾートの詰め物が入るように処方する。

足の裏や足趾先に胼胝ができたり、創傷歴がある患者には、足の圧が高い部分を少しオーソティックスが薄くなるように細工をするように処方をする。このタイプのオーソティックスは糖尿病靴と共に米国の高齢者向けの保険(メディケア)で支払われる。

糖尿病患者以外にもオーソティックスの適応患者はたくさんいる。足底筋膜炎のある患者、外反母趾のある患者、外反母趾の術後で外反母趾再発予防を望む患者、扁平足の痛みがある患者、スポーツのパフォーマンス向上を目指す人にはよくオーダーメイドのオーソティックスが作られる。素材はプラスチックまたはカーボンで、その上にトップカバーとしてEVA やスペンコの素材を使うことが多い。オーダーメイドのオーソティックスは足病外科医だけがオーソティックスの製作工場にオーダーできるものではなく、整形外科医、理学療法士などもオーダーができる。

注: 米国ではオーソティックスとインソールは同義で使われることが多い。

保護目的のオーソティックス例



オーダーメイドのオーソティックス例 ミレニア3DO システムにより作製



株式会社ミレニアへのリンク: <http://www.millennia-corporation.jp/insole/index.html>